



こども園の給食の様子

～目次～

6月議会定例会提出議案の概要	2
議案議決結果	3
5月議会臨時会提出議案の概要、議決結果	4
議会活動報告	5
6月議会委員会報告	6～7
一般質問(8人登壇)	8～11
主な出来事(政務活動費の請求を自粛します)	12
表紙の説明	12

議会だより9月1日号



令和二年第四回定例会

新型コロナウイルス感染症対策に係る 一般会計補正予算など、12件を可決・承認

令和二年第四回定例会が5月29日から6月26日までの29日間にわたり開催されました。

今回の議会に上程された議案は、専決処分の承認1件、条例の制定1件、条例の改正5件、補正予算関係2件、その他3件、合計12件。主な議案は次のとおりです。

なお、議決結果は3ページの議決一覧表にて掲載してあります。

専決処分関係

○令和2年度恵那市一般会計補正予算

新型コロナウイルス感染症対策に係る事業として、市内飲食店などを応援する「カツとく！応援チケット！」事業の拡充をするための経費など、7,414万2千円を増額補正する。

条例関係

○恵那市貸付金の返還債務の免除に関する条例の制定

恵那市看護師修学資金などが貸し付けた貸付金の返還を免除す

る要件など必要な事項を定めるため、この条例を制定する。

○恵那市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

危険手当の金額の変更など、所要の改正をする。

○恵那市国民健康保険条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた被保険者等に対する国民健康保険料の減免に関する規定の変更など、所要の改正をする。

○恵那市税条例の一部改正

全てのひとり親家庭に対して控除を同じにするなど、所要の改正をする。

○恵那市介護保険条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた被保険者に対する介護保険料の減免に関する規定の変更など、所要の改正をする。

○恵那市都市公園条例の一部改正

正家第二土地区画整理事業地内

に設置する都市公園の名称を加えるなど、所要の改正をする



新設された中曽根公園

その他

○契約の締結

長島町255号線（中央工区）道路改良工事
契約額 1億7,600万円
相手方 田口建設株式会社

○財産の取得

消防ポンプ自動車 2台
契約額 3,839万円
相手方 有限会社カーエージェ
ント中垣

○市道の廃止

明智町239号線を廃止する。

予算関係

○令和2年度補正予算関係

一般会計補正予算第4号では、新型コロナウイルス対策が主なもの、小中学校やこども園等の給食費の8月までの無償化に8,199万9千円を見込み、タブレット端末導入など小中学校ICT環境の整備事業費2億8,414万4千円の増、障がい者就業支援施設で就労している方に対して1万円の商品券を支給する経費として370万円の増、プレミアム率30%の商品券の発行事業8,000万円の増、宿泊割引クーポン券発行事業4,300万円の増、財源の確保のため、職員研修事業費など事業費の見直しで、5,006万2千円の減、合計で6億8,194万2千円の増額を計上しました。

第5号では、ひとり親世帯臨時給付金事業費4,385万2千円など、合計4,907万3千円の増額を計上しました。

6月議会定例会傍聴人数 16名

新型コロナウイルス感染症予防のため傍聴席を閉鎖していましたが、マスクの着用と当日の体温測定をお願いし、座席数を減らして社会的距離を確保しつつ傍聴を再開しました。

6月議会定例会 議決結果

(全会一致分)		
	議案名	採決結果
条例関係	恵那市貸付金の返還債務の免除に関する条例の制定について	可決
	恵那市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	可決
	恵那市国民健康保険条例の一部改正について	可決
	恵那市税条例の一部改正について	可決
	恵那市介護保険条例の一部改正について	可決
	恵那市都市公園条例の一部改正について	可決
その他	契約の締結について（長島町255号線道路改良工事）	可決
	財産の取得について（消防ポンプ自動車2台）	可決
	市道路線の廃止について（明智町239号線）	可決
補正予算関係	専決処分の承認について（専第7号 令和2年度恵那市一般会計補正予算（第3号））	承認
	令和2年度恵那市一般会計補正予算（第4号）	可決
	令和2年度恵那市一般会計補正予算（第5号）	可決



表彰を受けた3名
(左から堀議員、荒田議員、町野議員)

全国市議会議長会及び東海市議会議長会表彰伝達式が6月26日、恵那市議会議場で行われました。在職15年の長きにわたり地方自治の発展と振興に貢献された功績により表彰を受けた町野道明議員、荒田雅晴議員、堀 光明議員の3名の栄誉を讃えました

全国市議会議長会
東海市議会議長会

恵那市議会議員3名表彰

令和二年第三回臨時会

特別定額給付金事業を含む一般会計補正
予算など4件について審議

令和2年第三回臨時会が5月8日に開催されました。4月臨時会に続き、ことし2回目の臨時会で。市民一人あたり10万円の給付を行う特別定額給付金事業など、新型コロナウイルス感染症対策に係る補正予算などを審議するため、緊急に招集されたものです。今回の議会に上程された議案は、条例の専決処分1件、条例の改正2件、補正予算関係1件、合計4件。議案は次のとおりです。なお、議決結果は議決一覧表にて掲載してあります。

専決処分関係

○**恵那市後期高齢者医療に関する条例の一部改正**

岐阜県後期高齢者医療広域連合が支給する傷病手当金の受給申請受付を恵那市が行うため、所要の改正をする。

条例関係

○**恵那市税条例の一部改正**

地方税法等の一部改正に伴い、給与所得者や公的年金受給者の扶

養親族等申告書の記載を簡素化するなど、所要の改正をする。

○**恵那市都市計画税条例の一部改正**

新型コロナウイルス感染症対策に関連した地方税法の改正に伴い、厳しい経営環境にある中小事業者が所有する事業用家屋の軽減措置を新たに設けるなど、所要の改正をする。

予算関係

○**令和2年度恵那市一般会計補正予算**

新型コロナウイルス感染症対策に係る特別定額給付金事業に49億7,769万1千円、子育て世帯への臨時特別給付金事業1億2,228万4千円、合計50億9,997万5千円を増額補正する。

5月議会臨時会傍聴人数 0名

新型コロナウイルス感染症予防のため、議会の傍聴席を閉鎖して開催しました。

5月議会臨時会 議決結果

(全会一致分)

議案名		採決結果
条例関係	専決処分の承認について (専第6号 恵那市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について)	承認
	恵那市税条例の一部改正について	可決
	恵那市都市計画税条例の一部改正について	可決
補正予算関係	令和2年度恵那市一般会計補正予算 (第2号)	可決





議会傍聴に関する
お願い

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、恵那市議会では本会議等の傍聴に際し、予防対策を実施しています。

傍聴の受付時に体温を測定して、37・5度以上の発熱がある場合は傍聴をご遠慮いただきます。

また、マスクの着用と手指のアルコール消毒をお願いしています。

傍聴席は38席ありますが、間隔を取るために現在は15席に制限しています。希望者が15名を超えた場合は、別室でモニターによる傍聴となります。

本会議は、議会ホームページでのライブ中継やアミックスCOMのケーブルテレビでの録画放送をしていますので、そちらもご利用ください。

ご不便をおかけしますが、感染症の拡大防止にご協力をお願いします。

恵那市議会 議会中継

会議名一覧 議員名一覧 会派名一覧 条件検索 表示設定 動作環境

令和2年第4回定例会 - 5月29日 議案上程、詳細説明、委員会付託、議案審議

ご覧になりたい発言を選択ください。

諸般の報告
会議録署名議員の指名
会期の決定
市長提案説明

議案の詳細説明および質疑、委員会付託

▲お知らせ

会議名一覧へ戻る

恵那市議会ウェブサイトから見た議会中継の様子

議会活動報告

- 5月**
 - 1日 議会運営委員会 各派代表者会議 全員協議会
 - 7日 各派代表者会議
 - 8日 議会運営委員会 恵那市議会臨時会
 - 19日 議会運営委員会 総務文教委員会 市民福祉委員会 議会だより編集会議
 - 26日 議会運営委員会 恵那市議会定例会(初日)
 - 29日 恵那市議会定例会(初日)
- 6月**
 - 2日 恵那市ラリージャパン活用推進実行委員会
 - 10日 総務文教委員会 市民福祉委員会 経済建設委員会 議会運営委員会 全員協議会
 - 18日 恵那市議会定例会(2日目)
 - 19日 恵那市議会定例会(3日目)
 - 23日 総務文教委員会 市民福祉委員会 全員協議会 各派代表者会議 議会だより編集会議
 - 26日 恵那市議会定例会(最終日) 各派代表者会議
- 7月**
 - 9日 「瑞浪恵那道路整備促進協議会・国道19号瑞浪恵那道路促進議員連盟」国土交通省(多治見砂防国道事務所)へ要望
 - 13日 岐阜県市議会議長会議 「瑞浪恵那道路整備促進協議会・国道19号瑞浪恵那道路促進議員連盟」国土交通省(中部地方整備局)へ要望
 - 17日 東濃飛騨市議会議長会議
 - 21日 議会運営委員会 全員協議会
 - 22日 リニア中央新幹線対策特別委員会
 - 28日 東濃五市議会議長会議

他市町村からの視察受入状況(0件)

恵那市新型コロナウイルス感染症対策本部会議
(5月1日～7月31日までの間)
第27回 5月1日～第54回 7月31日
計28回

～ 補正予算で迅速な安全確保と生活支援 ～



新型コロナウイルス感染症から、 市民の生活を守る。

令和2年4月臨時会、5月臨時会、6月定例会において、今般の新型コロナウイルス感染症対策について、影響を受けている、子どもや高齢者、障がい者、子育て世帯への速やかな支援を図るための様々な事業について審査を行い、全会一致で可決すべきものと決しました。

【主な支援事業の内容】

子ども、高齢者、障がい者への感染防止対策

1. 臨時休校に対応するため、子どもの居場所を提供
(放課後児童クラブ運営委託料、学童クラブや学校・コミセン開放の給食支給費用)
・放課後児童対策事業費：10,883千円
2. 臨時休校により、家庭で過ごす子どもの食材費を支援
(児童クラブ等を利用しない小学生ひとりにつき、2千円分のプレミアム付き商品券を配布)
・子ども・子育て支援事業費：4,824千円
3. 市内の高齢者施設等に対し、新型コロナウイルス感染症対策支援
(消毒液や使い捨て手袋、防護服等、衛生資材を調達し施設等に配布。デイサービスの利用ができなくなり、食事をとることが困難になった高齢者世帯に弁当を配達)
・高齢者等生活支援事業費①：16,828千円
4. 高齢者の外出機会の減少が懸念されるため、公共交通機関を利用した外出を支援
(75歳以上の高齢者ひとりにつき、1万円分チケットを交付)
・高齢者等生活支援事業費②：97,000千円
5. 障がい者就労支援施設において、仕事が減少している就労者への支援
(就労している障がい者ひとり当たり1万円の商品券を支給)
・障がい者地域生活支援事業費：3,700千円

新型コロナウイルスの防疫を目的にマスク等を調達・配布

サージカルマスク、消毒液等業者からの調達のほか、市民に対し手作り布マスク2万枚の作成協力・寄附をお願いし、高齢者施設、学校などに配布。
・保健センター一般経費：12,334千円

新型コロナウイルスの影響を受けている、子育て世帯への生活支援

1. 児童手当受給世帯に対し、児童ひとり当たり2万円を給付。
(国の給付事業1万円、恵那市独自事業1万円)
・子育て世帯への臨時特別給付金事業：1億22,680千円
2. 経済的負担が大きいひとり親家庭に対し、子どもひとりにつき1万円の商品券を支給。
・子ども・子育て支援事業費：5,138千円

6月議会委員会報告

6月議会委員会報告

総務文教
委員会

『GIGA スクール構想』 国の指針に従って推進

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による臨時休校に伴い、子どもたちの学びを保証するため、小中学校に1人1台のタブレット端末を整える「GIGAスクール構想」を前倒しして早期の実現を目指す。

事業名	小中学校ネットワーク整備事業	タブレット端末購入事業
事業費	3億1,580万円	2億8,240万円
内容	大容量・多接続環境で安定稼働できる機能を整備(市内小中学校 全22校)	1人1台端末の配備(4,044台購入)

経済建設
委員会

「カッとく！応援チケット！」で 市内飲食店・宿泊施設を応援

「カッとく！応援チケット！」は、新型コロナウイルス感染症の影響により来客が減少し、運転資金の確保が困難になった事業者が当面の現金収入を得るための取り組みを応援するプレミアム率30%の先払い式チケットです。

市内飲食店・宿泊施設は、4月末より1シート5,000円分(500円×10枚綴)の金券を3,500円で先払い販売を始め、差額の1,500円はプレミアム分として恵那市が補助しているものです。

この「カッとく！応援チケット！」は、販売する店舗に加えて、利用するお客様にも好評で、すぐに完売となった店舗もあるなど多くの市民の方に活用されています。

・事業実績について

規模 総額4億2,000万円分となる84,000シートが発行済み

取扱店 市内227店舗

予算額 プレミアム分の市補助金は1億2,600万円



にし お つとむ
西尾 努

新型コロナウイルス 感染症対策について

問 今回、緊急的な対応が必要であったが、職員配置及び定額給付金支給状況について。

答 日常生活に制約を強いられ、経済的にも苦慮する市民の方に迅速かつ確実に給付するため、平成28年度の臨時福祉給付金業務の経験者、DVに関する業務経験者など、各分野の経験、知見の深い職員を優先して配置。特に、配慮したポイントは、申請書の早期発送、迅速確実な給付、そして、市独自の給付管理システム構築、この3点をポイントとした。これにより、6月17日現在の給付状況は、給付済みが98・31%で残り、約530世帯、830人余り。
(まちづくり企画部長)

問 恵那市新型コロナウイルス感染症対策の取組について、4つの分野において構成されているが分野別の現状、今後起り得るかもしれない第2波などに対する取組について。

答 5月13日に福祉関係者意見交換会を実施、加えて緊急アンケート結果からの意見などを

踏まえ、こども園や小学校の休校に伴い、特に、ひとり親の保護者の負担が増えていることからひとり親世帯への商品券の配付、障害者就労支援施設で働く障がい者に対し施設での仕事が減り、収入が減少していることから商品券の配付など。
(医療福祉部長)

カツとく！応援チケットは、運転資金等の確保に苦しんでいる事業者が当面の現金収入を得る仕組みとして、1シート5,000円の金券を3,500円で先払い販売し、差額の1,500円を市が補助する。各店舗での評判もよく、これまで215店舗が登録、7万7,280シート、総額3億8,640万円を発行。例年10月から実施していたプレミアム付き商品券の販売時期を7月中旬に前倒しして、プレミアム率を30%とし、発行枚数も3万シートに拡充し、事業規模総額3億9,000万円として実施。
(商工観光部長)

一般質問



なか しま もとのり
中嶋 元則

地球温暖化対策 について

問 気候変動に伴う豪雨の頻発化、激甚化を見据えると河川の維持管理は一層重要となる。市としての対策は。

答 国の取り組みで、防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策として、平成30年に河川の浚渫等の対策工事が予算化された。

市内においても、県が予算を活用し、1、2級河川において、河川断面を確保するため堆積した土砂を取り除く浚渫工事を昨年度までに5つの河川で実施している。

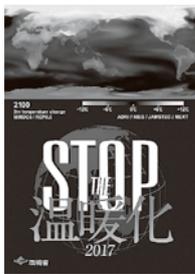
国では、新たに緊急的な河川等の浚渫経費について、特別措置を令和2年度創設、当市も、この事業を使い、普通河川の浚渫を行うために、今後5年間の計画を策定し本年度中に事業に着手したい。

問 恵那市の地球温暖化の取り組みとして、第2次恵那市環境基本計画を策定しているが、具体的な数値と中長期の計画は。

答 市役所は市内最大級の事業所として、温室効果ガスの

発生抑制を行うことで、市民や市内事業者の温暖化防止対策の取り組みを促している。

平成29年度、市の事務事業に伴って排出された温室効果ガスは、二酸化炭素換算で1万6,227トンと基準となる平成16年度との比較で39・6%の削減となった。中期計画として、第2次恵那市環境基本計画で、豊かで快適な環境保全及び創出に基本的な考え方を定め、長期計画として、持続可能な地域づくりに向け、SDGsの目標実現を図ることを市の地球温暖化対策実行計画に対応づけ、ゼロカーボンシテイの表明を検討したいと考えている。
(水道環境部長)



出典：環境省ホームページ
<https://www.env.go.jp/earth/ondanka/knowledge/Stop2017.pdf>



つ げ あきお
 栢 植 晃

ICT活用教育の 推進について

問

新型コロナウイルス感染症防止のため長期休校となった学校の学習支援においてタブレット端末を活用したオンライン教育の必要性・有効性が認識された。また、国においてICT（情報通信技術）を活用した情報活用能力を育成する「GIGAスクール構想」が推進されている。これらについて市の考えや取り組み状況について質問する。

答

休校中の学習支援は、共通学習のための補助教材として各教科の学習動画を配信。小中学校教職員やALT（外国語指導助手）が製作した家庭学習番組をアミックスコムや市のウェブサイトを利用し配信した。また、インターネットで家庭と学校を結ぶオンライン学習を可能な範囲で試行的に実施した。繰り返し学習できることや双方向のコミュニケーションで学習向上につながるなど成果があった。（副教育長）

「GIGAスクール構想」については、国の指針に従って推進す



タブレットPCを使った学習の様子

る計画で、小中学校すべての児童生徒に一人一台タブレット端末の配備と高速大容量校内通信ネットワーク整備を今年度末までに行うこととしている。学校の支援体制については教師の指導観を「ティーチングからコーチングへ」と転換した授業をしていくための研修を充実して、ICT活用指導力の向上を図るほか、「ICT教育推進本部」を立ち上げ、学校教育課内に「ICT教育推進室」を設置して専任の職員や企業関係者など専門性を持った人材を確保して、各学校におけるICT教育を強力に推進していく。（教育長）

情報弱者への配慮を



あ ん どう なお み
 安 藤 直 実

コロナ禍で顕在化した課題について

問

新型コロナウイルス感染症の感染者が増えてきた4月初め、市ではインターネットを利用した情報発信（市民メール、フェイスブック等）を非常に多く行っていたが、高齢者等インターネットを利用しない市民にとっては情報を得る手段が少なく不安がありました。「音声告知放送」や「広報えな・号外」を使うなどタイムリーに発信することはできませんか。

答

情報通信白書で推計すると、恵那市民でインターネットを利用しない人は約35%あります。市民メール等は音声告知放送、「広報えな」を補完するものとして活用しています。「広報えな5月号」に新型コロナウイルス感染症について多くの情報を掲載しました。情報の緊急性により手段を使い分けています。（総務部長）

オンラインで繋がる支援を

問

学校休業と同様に「こども元気プラザ」や「子育て支援センター」等が休館。また発達健診も中止。さらに外出自粛の中で、親も子どもストレスを感じていました。子育ての相談や悩み事の対応はどうしていましたか。集まることができない中「メール・ライン」での相談やオンラインで親子が繋がる支援はできませんか。

答

課題のある家庭へは相談員が訪問し状況把握に努めました。健診対象者へは電話し必要に応じて小児科医の相談を行いました。スマホでズーム（アプリ）を使ったママ友の交流や乳幼児教室等を検討したいと考えています。また、子育て支援課のページにメールフォームで受け付ける仕組みを進めていきたいです。（医療福祉部長）

その他の質問

公園・遊具の適切な配置を



まちのみちあき
町野道明

新型コロナウイルス

問 家計を守る（特別定額給付金、収入減・失業、公共料金）の負担軽減で家計を守る対応は）

答 特別定額給付金の10万円は、申請の困難な方は各戸訪問など個別の促進を図っている。緊急小口資金・総合支援資金の貸し付け業務の簡素化・迅速化の支援を行う。

問 税金、各種保険料、上下水道料金、市営住宅家賃などの公共料金は、減免、負担軽減の制度の周知、納税相談を行う。各種保険料は12件の相談に対応した。上下水道料は徴収猶予の相談があり、執行猶予を行っている。市営住宅、条例に基づき減免もできる。住宅確保給付金の支援制度を案内している。

問 今後の取り組み（感染拡大をどう防ぐか）

答 感染拡大を予防するため新しい生活様式の定着を図る。医療の提供整備は、宿泊療養施設の開設、市立恵那病院等で整備の改修の協議を行っている。

医療、介護従事者の特別手当は国の示しに対応していく。

問 避難所の3密対策は非接触型体温計、段ボールパーティションなどで回避していきたい。

答 学校再開により感染予防、熱中症予防で非接触型体温計の設備、マスク着用に配慮する。またGIGAスクール構想を早期に実現していく。

問 財政について（支援策の財源は）

答 財政は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用していく。

問 既にカッとく！応援チケット、プレミアム付き商品券、子育て世帯臨時特別給付金などを事業者が行う感染防止対策の支援に充てている。

答 （まちづくり企画部長）



プレミアム付き商品券

一般質問



とほやまのぶこ
遠山信子

新型コロナウイルス感染症を乗り越えて市民のいのちを支え合うために

問 世界を席巻するウイルス禍に、大人は自粛、子どもは辛抱の中、個人の命やくらしを守ることが、政治の大課題となりました。

答 迅速かつ正確に市民に提供する事が最も重要だと認識。特に、幅広い世代に情報発信を行うために、広報えな5月号をコロナ特別編成号として発行することにさせて頂きました。また、アンケートをとり、実施して欲しい対策を検討することが出来ました。1万枚手作りマスク作戦も、その成果です。特別定額給付金も、職員を動員して全ての市民にいち早く、お届けする対応を工夫して来しました。

問 雇用調整助成金は、国の制度ですが、ハローワーク恵那と連携をとり、市から社会保険労務士に助成し、相談を受けています。

答 （総務部長）

問 6,7,8月の給食費無償は、大歓迎の施策です。今後は、9月以降は新型コロナウイルスの様子を見て再度検討していきます。

答 就学援助制度については、コロナ感染症の影響で、減給や失業など、生活に困窮する方の増加が深刻なので、学校と連携しながら丁寧に進めてまいります。

問 PCR検査を進めて欲しいです。

答 地域外来検査センターを開設しており、検査が必要とした場合のみ紹介されます。県全体の検査可能件数は、494件となる見通しです。現在で4963件です。一日最大実施件数は174件です。

答 （医療福祉部長）



マスク作戦



佐々木 透

安心して働く環境と 制度内容について

介護離職を防ぐための支援策について

問 介護サービスの内容、仕組み、窓口について更なる制度充実に向け、今後のお考えは。

答 労働者のご家族の方の在宅介護につきまして、その負担を軽減するためには、介護サービスを適切に利用していただくことが重要となります。

そのための介護サービスとして地域包括支援センターがあります。今年の4月からは、恵南地域のサテライト施設として、山岡振興事務所内に恵南地域包括支援センターを設置して、相談窓口の利便性の向上に努めております。

今後も引き続き出前講座により制度内容の周知を図るほか、介護サービスの内容や相談窓口のことを広く知っていただくために、市内企業で働いている方への周知活動を充実して、介護離職の防止に努めていきたいと考えております。

働きながらの育児・子育て支援について

問 子ども・子育て事業計画に基づき、働く親を支援するための今後の対策をお聞きしたい。

答 令和元年10月からは、国の方針を受けまして、総合的な少子化対策として、3歳から5歳児までの保育料を無償化としました。

これに加え3歳未満児についても、生活保護世帯や市民税非課税世帯の保育料は免除、多子世帯には、保育料が軽減ということになっております。

そのほか、所得に応じた区分ごとに保育料を定め、働く保護者の負担軽減を行っているところで、す。

(医療福祉部次長)



恵南地域包括支援センター



鵜飼 伸幸

小坂市政1期目の総括と 今後の恵那市政について

リニア中央新幹線、幹線道路の整備、観光と産業を中心にリニアを生かしたまちづくり。そして交付税措置終了後の財源確保など、今後の市政運営は。

問 リニア中央新幹線、幹線道路の整備、観光と産業を中心にリニアを生かしたまちづくり。そして交付税措置終了後の財源確保など、今後の市政運営は。

答 当面はリニアを見据えたまちづくりを中心に考え、リニア基盤整備計画も昨年作成、準備も整い順次着手をしていきます。

また瑞浪恵那道路、新丸山ダム等のまちづくりの基本である基盤整備もリニアを見据えて進め、市民のくらし、観光をはじめとした経済の活性化を図っていく。

財政については、合併特例債残り20億円で、交付税の一本算定も昨年で終わり、予算は人口が減少していく中、厳しい未来が待っています。

この4年間で繰上償還を25億円し、実質公債比率は4%と過去最低に、公共施設整備基金は23億円の積み増し、残高52億円まで上がりました。

決して将来楽観はできないが、不安なことはないところまで来て

今年11月に満期を迎えられることとなります。2期目に向けての考えは。

問 リニア開業を7年後に控え、デジタルとコロナで社会の仕組みや暮らしが大きく変わりつつある。恵那市政の運営に携わることには大きな喜びであり、支援いただいている関係の皆様のご了解がいただけることが前提ですが、大好きな恵那市のため大きな可能性を生かすような仕事を引き続きさせていただければ、喜んでこの仕事に携わっていききたいと考えています。

答 リニア開業を7年後に控え、デジタルとコロナで社会の仕組みや暮らしが大きく変わりつつある。恵那市政の運営に携わることには大きな喜びであり、支援いただいている関係の皆様のご了解がいただけることが前提ですが、大好きな恵那市のため大きな可能性を生かすような仕事を引き続きさせていただければ、喜んでこの仕事に携わっていききたいと考えています。

(市長)



山梨リニア実験線

主な出来事

全議員が今任期の政務活動費の請求を自粛します。

元恵那市議会議員水野功教氏が令和元年度に政務活動費の不適切な請求（県外での研修に自動車で移動していましたが、鉄道で計算した交通費を計上）を行いました。受給した交通費は、事実判明後の5月1日に全額を返還しています。水野氏は5月7日に辞職願を提出し、同日議長に許可されました。

政務活動費の説明責任はすべて議員個人に帰属するものですが、恵那市議会として今任期中（4月1日から11月27日まで）の政務活動費の請求を議員全員が自粛することとしました。

水野氏の辞職により、恵那市議会の議員数は16名となり、現在2名の欠員です。

今年度の行政視察を中止しました。

例年7月上旬から実施していた3常任委員会（総務文教、市民福祉、経済建設）の先進地視察について、令和2年度は実施を見送ります。

現地を実際に視察することで知見を深め、恵那市の施策に対する議会の提言などにつなげてくださいましたが、全国的な新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて中止とするものです。

表紙の説明

新しい生活様式を取り入れた給食の様子

一向に収束の気配が見えない新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大により、様々な場面で拡大予防の対策が取られています。

密閉・密集・密接の3密を避けることが有効ですが、ソーシャルディスタンスの確保が難しい場合は、飛沫防止の対策をします。

市内の保育・教育施設では給食時に、手洗い・消毒の徹底に加えて、飛沫防止のパネル・シヨンを設置するなど感染防止に取り組んでいます。これは令和2年度の6月補正予算で計上して購入したものです。

様々な対策を取りながら、新しい生活様式の定着を目指し、コロナ後の新しい社会に向けて対策に取り組んでいます。写真は武並こども園の給食風景です。



編集後記

大雨警報の連続で、大きな災害がありました。体調を崩された方々、仕事が進まない方々、全ての皆さんにお見舞い申し上げます。

一方、命に直接襲い掛かるパンデミック。新型コロナウイルス感染症。まさに災害です。

目に見えないウイルスとの闘いで全世代が不安に駆られ、いのちと向き合う日々を過ごしています。

こんな時にこそ、政治力の真価が試されます。わが市では、市民のいのちを守るために、いち早く、ぬくもりのある政治的決断がされました。

市民へのアンケート。二万枚のマスク作戦。いち早い、特別定額給付金の支給。コロナ感染症対策で満載の広報。5月号等々です。

寄り添う市政が、安心と信頼を生みました。しかし関門は一つではすまないのが、油断のできない、今回のコロナ禍です。

収束を迎えるまで、息長く、弱者に寄り添い、市民のいのちと暮らしを守るために、市政はなおも奮闘したい。それを励まし、見守るのが議会のより大切な仕事となりました。

(N・T)

広報広聴特別委員会

- 委員長 佐々木透
- 副委員長 橋本平紀
- 委員 柘植孝彦
- 委員 遠山信子
- 委員 町野道明
- 委員 中嶋元則
- 委員 安藤直実

次回の議会だよりは、12月1日の発行を予定しています。